

きかくてん  
企画展

きょうど ひら ひとびと  
「郷土を拓いた人々」

ろっかしよむら かいたく れきし しゃしんてん  
～六ヶ所村の開拓の歴史と写真展～

あ い さ つ

めいじじだい ろっかしよむら ありとの だいち ごりょうち こくゆうち  
明治時代、六ヶ所村の有戸野といわれる台地は、御料地・国有地  
でした。せんご ふ あ こうりょう だいち にゅうしょくしゃ  
戦後、ヤマセ吹き荒れる荒涼としたこの台地を、入植者が、  
その手にちまめ つく ひとくわひとくわがや かいたく げんざい  
その手に血豆を作りながら、一鍬一鍬耕し、開拓してきました。現在  
では、いちだいらくのうちたい ろっかしよむら かいたく  
では、一大酪農地帯となっております。六ヶ所村における開拓の  
れきし とうじ せいかつ ようす つた しゃしんなど てんじ ろっかしよそんみん  
歴史や当時の生活の様子を伝える写真等を展示し、六ヶ所村民はじ  
めそんがい かたがた しょうかい おも  
め村外の方々にもご紹介できますことを、うれしく思っております。

こんかい きかくてん めいじ たいしょうじだい ろっかしよむら だいち ようす のうち  
今回の企画展は、明治・大正時代の六ヶ所村の台地の様子や農地  
かいかく のうみん  
改革と農民のくらし、そして、せんご かいたく ようす だいひょうてき  
戦後の開拓の様子を代表的な4つの  
ちく こくえいじぎょう と あ れきし ふ かえ せんご  
地区と国営事業を取り上げ、それらの歴史を振り返ります。戦後の  
きんきゅうかいたく じったい しょうわ ねん ねん れいがい かいむさくのこ  
緊急開拓の実態や昭和28年、29年の冷害による皆無作を乗り越  
え、ひとびと じんせい せんたく ときどき おこな  
え、人々がどのような人生の選択をその時々に行ってきたのかを、  
かいたく れきしてんじ とうじ せいかつ うつ しゃしん い かた  
開拓の歴史展示パネルや当時の生活を写した写真から、その生き方  
をまな とうじ ひとびと おも ろっかしよむら せいかつ  
学びます。当時の人々が、どのような思いで、ここ六ヶ所村で生活  
していたのかを、み さわ かん と おも  
「見て・触って・感じ取って」いただきたいと思  
います。

さいご きかくてん ろっかしよむら みりよく はくくつ はっけん  
最後に、この企画展をとおして、六ヶ所村の魅力が「発掘・発見・  
はっしん ねが  
発信」につながることを願っております。

六ヶ所村立郷土館指定管理者

一般財団法人六ヶ所村文化振興公社

六ヶ所村立郷土館長 鈴木 浩